

特殊教育教育課程の編成表

学年	学期	教科区分	教科目	単位	時間			備考
					理論	実習	設計	
3	1	専選	ICT活用授業実習	3	2	2	0	
			視覚障害コミュニケーション法	3	3	0	0	
			コミュニケーション障害児教育	3	3	0	0	
			読み書き学習障害児教育	3	3	0	0	
			弱視学生指導	3	3	0	0	
			知的障害児の言語指導	3	3	0	0	
			知的障害児職業教育	3	3	0	0	
			重複・肢体不自由児のリハビリ指導	3	3	0	0	
			重複・肢体不自由児指導法	3	3	0	0	
			聴覚障害児の教育課程及び指導	3	3	0	0	
			聴覚障害児の言語指導	3	3	0	0	
特殊教育歴史及び哲学	3	3	0	0				

特殊教育教育課程の編成表

学年	学期	教科区分	教科目	単位	時間			備考
					理論	実習	設計	
3	2	専選	軽度障害児教育	3	3	0	0	
			数学学習障害児教育	3	3	0	0	
			障害児診断及び評価	3	3	0	0	
			情緒・行動障害児教育	3	3	0	0	
			知的障害児の教科指導法	3	3	0	0	
			重複・重症障害児教育	3	3	0	0	
			肢体不自由児教科指導法	2	2	0	0	
			聴覚障害児教科指導法	2	2	0	0	
			特殊教育教科教育論	3	3	0	0	
			特殊教育教師論	3	3	0	0	
特殊学級経営論	3	3	0	0				

特殊教育教育課程の編成表

学年	学期	教科区分	教科目	単位	時間			備考
					理論	実習	設計	
4	1	専選	健康障害児教育	3	3	0	0	
			障害学生統合教育論	3	3	0	0	
			移行教育	3	3	0	0	
			特殊教育教材研究及び指導法	3	3	0	0	
	2	専選	模擬授業実習	3	2	2	0	
			授業指導理論及び実習	3	2	2	0	
			自閉症障害児教育	3	3	0	0	
			障害児保護者教育	3	3	0	0	
			特殊教育論理及び論述	3	3	0	0	
	合計					138		

背景

- **特殊教育の量的拡大と教育の質的向上に対するニーズの増加**

- **統合教育の弘化**

- **地方化、分権化をもとにし、特殊教育のバランスのある発展を
求める必要性**

- **専門家と支援チームとの専門性及び責務性の確立、
協力体制を構築する必要性**

第3次特殊教育発展5カ年計画('08-'12)

(教育科学技術部, 2008)

I

通常学校に在籍する特殊教育対象児に対する支援拡大

II

通常教育教員の特殊教育専門性の弘化

III

特殊教育教員の統合教育の力量弘化

IV

全国民を対象とした障害認識の改善

1. 通常学級に在籍する特殊教育対象学生に対する支援の拡大:巡回教育

通常学級に在籍する特殊教育対象学生に対する巡回教育

地域	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
ソウル市	83	54	31	66	234
釜山市	26	7	12	15	60
大邱市	23	8	24	1	56
京畿道	45	52	19	19	135
忠清南道	22	90	42	11	165
全羅南道	10	31	30	33	104
慶尙北道	20	117	79	38	254
慶尙南道	22	43	13	45	123
濟州島	16	65	32	14	127
合計	395	721	482	329	1,927

1. 通常学級に在籍する特殊教育対象学生に対する支援の拡大:巡回教育

問題点及び改善策

- 通常学級に在籍する特殊教育対象学生の数(14,741名)に比べ、巡回教育支援学生の数(1,927名)は非常に少ない。
- 多様な障害領域に対する専門巡回教師すなわち、特殊教育支援センターにおいてそれぞれの障害領域の巡回教師を採用して、学生の障害類型および個別のニーズに応じた教育的支援が至急課題である。

2. 通常教育教員の特殊教育専門性及び責務性

地域別の通常学級担当教師の現状

(単位：名，%)

地域	特殊学校免許の追加保有者		60時間以上研修		30時間以上研修(30~59時間)		履修なし		計
	教師数	割合	教師数	割合	教師数	割合	教師数	割合	
ソウル市	33	0.5	450	6.8	417	6.3	5,742	86.4	6,642
釜山市	65	1.9	595	17.5	71	2.1	2,677	78.6	3,408
大邱市	33	1.4	510	21.4	29	1.2	1,806	75.9	2,378
京畿道	125	1.2	3,756	35.8	269	2.6	6,336	60.4	10,486
江原道	15	1.0	381	24.8	79	5.1	1,059	69.0	1,534
忠清南道	61	2.4	906	36.1	48	1.9	1,498	59.6	2,513
全羅南道	36	1.6	99	4.5	35	1.6	2,021	92.2	2,191
慶尙北道	39	1.7	424	18.6	177	7.8	1,637	71.9	2,277
慶尙南道	79	2.1	534	14	71	1.9	3,119	82.0	3,803
濟州島	18	2.5	371	50.6	129	17.6	215	29.3	733
合計	701	1.5	11,394	24.2	1,449	3.1	33,535	71.2	47,079

2. 通常教育教員の特殊教育専門性及び責務性

問題点及び改善策

- 特殊教育に関する知識がほとんどない教師：71.2%
付加的な業務負担として認識
- 統合学級担当教師を養成できるように教員養成機関の活性化
- 通常学校教員の統合教育関連研修の強化
- 統合学級担当教師に対するインセンティブ制の強化
- 統合学級担当教師の資格基準の強化
- 統合学級の一般学生数の調整
- 個別化教育計画の作成および学生の教育権に対する責務性の強化

3. 特殊教育教員の統合教育責務性の強化

- 特殊教師の資格基準又は養成課程において履修しなければならない科目変更(統合教育関連科目の強化)
- 教育大学院及び特殊教育大学院の教育課程の強化及び専攻教授の確保
- 特殊教育教員に対し、一般教科教育に関する職務研修課程の開設及び運営の強化
- 国又は地域教育庁次元での積極的介入と支援

4. 障害認識改善

地域別通常学校の障害理解教育実施率

(単位：校, %)

地域	幼稚園				小学校				中学校				高等学校							
	全学校数	年2回以上		年1回		全学校数	年2回以上		年1回		全学校数	年2回以上		年1回		全学校数	年2回以上		年1回	
		学校数	割合	学校数	割合		学校数	割合	学校数	割合		学校数	割合	学校数	割合		学校数	割合	学校数	割合
計	8,334	6,071	72.8	2,115	25.4	5,944	5,592	94.1	300	50.0	3,152	2,875	91.2	230	7.3	2,283	1,945	85.2	295	12.9

4. 障害認識改善

題点及び改善策

- 障害認識改善教育の継続的推進
- 障害理解教育の内容と学年別・学生別の実態に応じた適切な教育方法の適用
- 正規教育活動の中での運営
- 小・中・高の教科書において、障害関連内容の深化、補充資料及びアニメーションなどを含む多様な障害理解教育資料普及・拡大
- 放送とマルチメディアを活用した全国単位の学生行事を通じた障害理解事業を継続的に推進